

受賞者の概要

1 農業経営の部

【大賞（農林水産大臣賞・栃木県知事賞）】

◆株式会社 雄（真岡市）

●経営の特色

- ・「地の利を生かし、お米で元気に、いちごで笑顔に」を経営理念とし、社員とその家族の生活を支えるだけでなく、地域の発展を見据えた経営に取り組んでいる。
- ・スマート農業機械を積極的に導入し、GNSS 受信機の活用と畦畔除去による区画拡大、直播栽培の導入等により作業の効率化を図り、水稻・小麦・いちご等を含め約 200ha の大規模経営を行っている。
- ・地域の水田農業の受け皿となり、耕作放棄地拡大の防止に貢献しているほか、全国からの視察や研修生の受入れ、各種農業体験、食と農の理解促進など、地域にとどまらない幅広い貢献活動を実施している。
- ・市場出荷からシフトしたいちごの摘み取り園では、主力品種に加え希少性の高い品種の導入により差別化を図るとともに、6次産業化による多様な商品開発に取り組み、いちごを無駄なく活用している。販路開拓にも積極的に取り組み、JA 出荷のほか自宅での直売、道の駅への出荷やECサイトの活用など、複数の販路を有している。
- ・法人化により構成員の役割と責任を明確化するとともに、従業員の人材育成や福利厚生の実も工夫し、モチベーション向上と職場の一体感醸成に努めている。

●受賞のポイント

スマート農業機械や大型農業機械等を積極的に導入し、高収益な大規模経営を実践するとともに、地域の水田農業の受け皿として重要な役割を果たすことで、地域貢献を実現している。土地利用型農業の先進的なモデルとして注目度が高く、全国からの視察や研修生の受入れ、食と農への理解促進など、地域にとどまらない幅広い貢献活動に取り組んでいる。これらの取組を通じ、持続可能な農業の実践が高く評価され、大賞に選出された。



代表取締役 猪野 雄介 氏(中央)と役員



株式会社雄の従業員

【栃木県知事賞】

◆株式会社 新日本農業（小山市）

●経営の特色

- ・約1ha規模のいちご経営に加え、米麦栽培にも取り組む。いちごにおいては、自社加工施設での6次産業化に取り組み、農業者では初となるとちぎHACCPの認証を受けた。
- ・商談会をきっかけとした複数国へのいちごの輸出に取り組むとともに、労働環境への配慮や農福連携など、多方面にわたる取組を実施している。

●受賞のポイント

加工施設の整備と商品開発を進めるとともに、海外輸出にも積極的に取り組み、販路拡大と高収益化を実現している。また、労働環境の整備や農福連携、研修生の受入れを通じた地域貢献など、経営面と社会面の両立を図る幅広い取組が高く評価された。



代表取締役 荒井 聡 氏



いちごハウスの様子

◆五月女 文哉（大田原市）

●経営の特色

- ・約30haの土地利用型農業。スマート農業機械を積極的に活用し、省力化と高品質生産を両立した水稻栽培（主食用米、酒米、WCS）に取り組んでいる。
- ・スマート農業により作業の平準化を図り、時間に余裕のある家族経営を実現。さらに、積極的なSNSの活用により多様な消費者向け（BtoC）販売に対応し、経営の発展を加速している。

●受賞のポイント

省力化と作業の平準化を進めることで、利益向上を図る持続的な経営を実現している。安心・安全で食味に優れた米の生産技術を追求するとともに、酒米栽培にも注力し、複数の酒蔵から高い品質評価を得ている。さらに、SNSを活用した情報発信により農業の魅力を広く伝え、地域や農業の活性化に貢献している点が高く評価された。



五月女 文哉 氏(右)と長女



トラクターによる草刈り

◆合同会社 薄羽養鶏場（益子町）

●経営の特色

- ・集卵作業等の自動化システムの導入による生産効率の向上や、規格外品を活用した商品開発などにより、経営の安定化を図っている。
- ・鶏卵及び加工品を中心に、ECサイト等を活用した販路拡大を実現しており、複数のECサイトの顧客満足度等において全国1位の実績を有している。

●受賞のポイント

データを活用した品質改善に取り組むとともに、6次産業化による高付加価値商品の開発や、ECサイト等の活用により、業務の効率化と販売力の強化を実現している。これら一連の取組が、経営の高度化と将来性の両面において高く評価された。



薄羽 哲哉 氏



養鶏場の様子

2 農村活性化の部

【大賞（関東農政局長賞・栃木県知事賞）】

◆株式会社道の駅東山道伊王野（那須町）

●活動の特色

- ・ 地元の特産品であるそばや多品目の野菜を販売するとともに、年間を通じた多くのイベント開催により、地域の活性化を図っている。
- ・ 従業員が生産者向けに栽培講習会やマンツーマンの技術指導を行うことで、農産物の出荷者数が拡大している。
- ・ 地域外の生産者とも積極的に連携し出荷者を増やすことで、多品目の野菜販売を実現し、さらなる集客につなげている。
- ・ そばの生産振興やそば打ち職人の育成に取り組むとともに、水車を動力とした直径2メートルの大石臼で挽いた香り高いそばを特色として打ち出し、「そばソフトクリーム」などの特産品づくりにも取り組んでいる。
- ・ 地域の食文化を通じた都市農村交流の促進を目的に、野菜や地元産和牛及び鮎を活用したメニューを提供する食堂「あんず館」を開店し、新たな集客を実現している。
- ・ 2月の「寒晒しそば」、9月の「大鍋芋煮」や「新米祭り」など、年間を通じたイベントを主催し、地域住民も運営に参画するなど、地域の活性化に貢献している。
- ・ 当該法人は従業員数 54 名を擁する地域の重要な雇用の場となっており、その約8割が女性である。また、女性が経営に携わり、活躍できる職場環境を整備している。

●受賞のポイント

従業員の技術指導や地域外の生産者との積極的な連携により、多品目の野菜の安定的な販売を実現するとともに、特色ある名物そばを中心とした特産品づくりや、年間を通じたイベントの開催に取り組んでいる。その結果、東日本大震災やコロナ禍を乗り越えて、令和6年度は売上・入込人数とも過去最高を達成している。地域交流の拠点として雇用創出・観光振興・農業振興を一体的に推進し、地域経済を牽引していることが高く評価され、大賞に選出された。



株式会社道の駅東山道伊王野の役員・関係団体会員



特産品のそばと水車

【栃木県知事賞】

◆古賀志そば生産組合（宇都宮市）

●活動の特色

- ・退職後の兼業農家が中心となり、そば栽培を核として、耕作放棄地の解消や地域ブランド力の向上に取り組んでいる。
- ・ひまわり等の景観作物導入による地域景観の向上や、コミュニティ活動の強化など、多面的な地域貢献に取り組んでいる。

●受賞のポイント

そばや景観作物による地域農業の活性化と農村景観の保全に加え、地域内の多様な組織と連携した地域交流を推進するなど、地域社会全体の活性化に貢献している点が評価された。



古賀志そば生産組合の組合員



ひまわり畑

3 芽吹き力賞

【栃木県知事賞】

◆山本 毅（芳賀町）

●活動の特色

- ・スマート農業機械を活用した大規模水稻栽培に加え、さらなる経営の安定を図るため、企業との契約によるじゃがいも等の露地野菜栽培へ積極的に取り組み、栽培面積を拡大している。
- ・SGS（粳米サイレージ）の原料供給など、地区協議会が取り組む耕畜連携への積極的な参加や、他の水稻農家に対し露地野菜導入のメリットを共有するなど、地域貢献にも取り組んでいる。

●受賞のポイント

水稻農閑期を活用した露地野菜の契約栽培による安定収入の確保、スマート農業機械の導入による省力化や、地域農業活性化の取り組みを進めている。さらに、短期間での栽培面積拡大を実現するなど、土地利用型農業の大規模化と露地野菜の産地づくりを両立している点が高く評価された。



山本 毅 氏



田植え作業の様子

◆増田 佳久・増田 仁美（矢板市）

●活動の特色

- ・耕作放棄地に向く作物として、キャッサバ栽培に注目し、栽培方法、加工方法、販路の開拓を独自に行っている。
- ・耕作放棄地の解消につなげるとともに、「日本キャッサバ会」を設立し新たな栃木名物を目指す取組を行うなど、地域活性化に貢献している。

●受賞のポイント

未開拓作物であるキャッサバを活用した遊休農地の有効利用に取り組むとともに、栽培・加工・流通まで自ら一貫した体制を構築し、地域農業の新たなモデルの確立に挑戦している点が高く評価された。



増田 佳久 氏(右)・仁美 氏(左)



キャッサバの加工品

◆株式会社T E R Aファーム（栃木市）

●活動の特色

- ・航空整備士としての経験を活かし、農機具の整備・改良を行うとともに、大型農業機械を効果的に活用することで労働生産性を高め、約100ha規模の収益性の高い水稻・麦栽培を実践している。
- ・自社の経営手法や考え方を従業員や地域の若手農業者へ積極的に共有し、収益性の高い農業を実践できる人材の育成に取り組んでいる。

●受賞のポイント

前職のキャリアを活かし、農業機械の開発・整備事業を手がけるなど、多角的な経営を展開している。農作業等の省力化及び低コスト化を徹底することで高収益化を推進するとともに、人材育成にも積極的に取り組んでおり、他産業と遜色ない所得水準の農業の実現を目指す姿勢が高く評価された。



代表取締役 寺内 真奈生 氏



開発した畦畔除草バギー

4 特別賞

(1) 栃木県農業協同組合中央会長賞

【農業経営の部】

◆まみあないちご園 坂本 将（宇都宮市）

●経営の特色と受賞のポイント

消費者に喜ばれる安心・安全で高品質ないちごの生産に取り組み、地域に根ざした「頼られるいちご農家」を目指している。高度な生産技術により高単収と高品質を両立させ、収益性の高い経営を実践している。また、環境負荷の低減や安全性の確保に継続して取り組む姿勢は、今後の地域農業を牽引する存在として将来性が高く評価された。

◆株式会社ファーム横尾（鹿沼市）

●経営の特色と受賞のポイント

素牛を全て自家生産することで、素牛価格に左右されない健全で安定した経営を実現するとともに、自給飼料生産やスマート農業機械の活用によりコスト削減と効率的な飼養方式を実践している。また、「牛屋の肉屋よこお」をオープンし消費者の声を積極的に取り入れた生産・販売に取り組んでいる。加えて、とちぎ和牛の生産を牽引する組織づくりを進めており、これらの点が高く評価された。

【農村活性化の部】

◆水の郷 泉を守る会（矢板市）

●活動の特色と受賞のポイント

農業者以外に多数の非農家が構成員となり、担い手への農地集積を図るとともに、地域の自然環境の維持など、次世代につなげていくための取組を進めている。地域コミュニティの強化を通じて、「地域をみんなで良くしよう」という意識の醸成に寄与している点が高く評価された。

【芽吹き力賞】

◆本澤 盛男（那須塩原市）

●活動の特色と受賞のポイント

「今やらなくては絶対後悔する」という強い信念のもと、就農。県内各地のアスパラガス生産者と積極的に交流しながら技術力の向上に努め、その結果、短期間で高収量を実現している。さらに、地域の畜産農家から生じる堆肥を活用した耕畜連携にも取り組んでおり、今後の新規就農者の優良事例となり得る点が評価された。

◆鈴木 翔太・小池 裕也（鹿沼市）

●活動の特色と受賞のポイント

農外からの二人三脚での新規就農により、1人あたりの初期投資を低減するとともに、栽培技術向上を目的に、雇用の工夫や県内外の生産者と積極的な交流を行い、高単収のいちご栽培を実現している。担い手不足が深刻化する中、珍しい新規参入の好例となり得る点が評価された。

(2) 下野新聞社長賞

【農業経営の部】

◆小林 薫（さくら市）

●経営の特色と受賞のポイント

水稲と繁殖和牛のバランスがとれた複合経営を実践し、通年の安定した雇用につなげるとともに、耕種と畜産の循環型農業を実現している。スマート農業機械の活用による作業効率の向上や園芸ハウスを活用した低コスト牛舎などの様々なコスト低減への工夫、積極的な農地の受け入れによる地域貢献などに取り組んでいる点が評価された。

【農村活性化の部】

◆東水沼保全会（芳賀町）

●活動の特色と受賞のポイント

農家と非農家が構成する組織で、農用地や農業施設の保全管理を行っている。遊休農地の活用や生き物調査など、農家・非農家や世代を超えた幅広い層が参画する活動を通じ、地域一体となった活性化に取り組んでいる点が評価された。

【芽吹き力賞】

◆株式会社オプティム・ファーム（宇都宮市）

●活動の特色と受賞のポイント

自社で開発したスマート農業技術を活用し、農作業の積極的な受託などを通じて、地域と連携した効率的な水稲栽培に取り組んでいる。また、若手人材の採用・育成にも力を入れ、若い世代が農業を目指せる環境づくりを進めていることなど、地域農業の発展に大きく貢献している点が評価された。

◆MAISON DE PEONY 片岡シャクヤク園（足利市）

●活動の特色と受賞のポイント

シャクヤクの魅力を広めるため、運営するシャクヤク園を活用した地域交流会の開催や情報発信に積極的に取り組んでいる。生産から PR まで独自の工夫を凝らすとともに、来園者や地域住民との交流を通じて地域活性化にも貢献している。これらの取組を通じ、将来的なシャクヤクの産地化を見据えた明確な展望を示している点が高く評価された。